

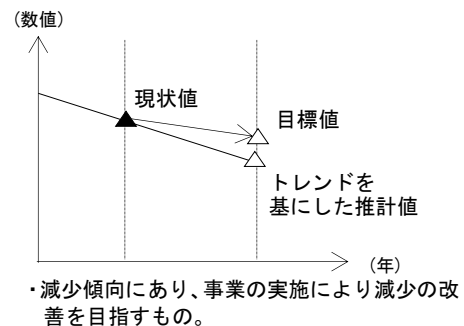
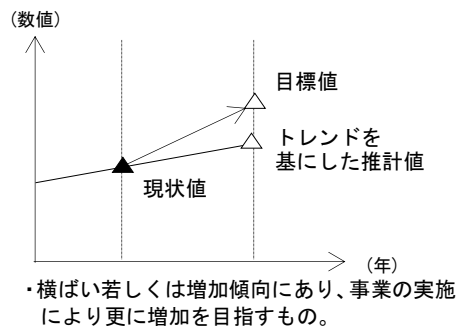
政策目標における目標値の設定の考え方について

1. 政策目標毎の指標の考え方

- 現在策定中の次期総合計画における政策目標の指標は、原則として市民意識調査の結果を用いることとしている。
- 各政策目標の指標は、政策目標内に設定している「取組の方向性」に紐づく項目について、市民の満足度を測るアンケートを設計し、項目毎の結果を「取組の方向性」単位で集計したものとする。

2. 目標値の設定に係る考え方（案）

- 政策目標における指標の目標値の設定は、現行の総合計画期間において実施した満足度調査（21～29 年度）のトレンドや政策の重要度等を勘案したものとする。
- トレンドについては、これまで実施してきた満足度調査の設問と令和元年度に実施した市民意識調査の設問について、整合性を整理し、令和元年度の結果にこれまでのトレンドを当てはめることにより 10 年後の目標の推計を行う。
- 重要度等については、調査における市民の重要度と本市の今後の政策の軽重等を勘案して、トレンド推計の結果に目標の上乗せをするなどを検討する。



3. 今後の検討事項・留意事項

- 市民の重要度や政策の軽重に合わせて目標の上乗せを実施する場合、その考え方（何に・どの程度上乗せするか）を整理する必要がある。
- 目標値の軽重がその分野の予算配分に結び付くものではなく、具体的な施策・事業レベルの取り組みの軽重については、実施計画に掲げる重点戦略等でその時点の状況に合わせて整理をしていく。